対象校No. 735
注４

学校コード F123310106611
注３

設置年度　令和　6年度

計画の区分：　学部の設置
注１

届出

注2
名古屋学院大学　経営学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人名古屋学院大学
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総合企画課
職名・氏名	課長補佐（カチョウホサ）　大澤隆志（オオサワタカシ）
電話番号	052-678-4077
（夜間）	052-678-4080
ｅ－mail	kikaku@ngu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜データ経営学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人名古屋学院大学

（２）大　学　名

名古屋学院大学

（３）調査対象大学等の位置

〒４５６－８６１２
愛知県名古屋市熱田区熱田西町１番２５号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ インデン　ヨシオ ） 因田　義男 （平成３０年８月）		
学　　長	（ アカソ　ナオユキ ） 赤楚　治之 （令和２年４月）		
学 部 長	（ スギウラ　レイコ ） 杉浦　礼子 （令和６年４月）		
学科長等	該当なし		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 データ経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4 年	135 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	540 人	－	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 135 （－） ［－］	－人	－	1.08倍	－倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	1,146 （－） ［2］	－ （－） ［－］				
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	1,123 （－） ［2］	－ （－） ［－］				
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	342 （－） ［1］	－ （－） ［－］				
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	147 （－） ［1］	－ （－） ［－］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		－		－		－		1.08					

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	147 [1] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		147 [1] (－)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 ＼ 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	147 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\%$

【令和2年度】

$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\%$

【令和3年度】

$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\%$

【令和4年度】

$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\%$

【令和5年度】

$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-}\%$

【令和6年度】

$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{147} = \boxed{0}\%$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜経営学部　データ経営学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
ＮＧＵ教養スタンダード科目	キリスト教概説1	1前	2								1
	キリスト教概説2	1後	2								1
	聖書学	2･3･4前		2							1
	キリスト教倫理	2･3･4前		2							2
	キリスト教史	1･2･3･4後		2							1
	基礎セミナー	1前	2			5		2			
	発展セミナー	1後		2		1		1			
	キャリアデザイン1a	1前		2							2
	キャリアデザイン1b	1後		2							2
	キャリアデザイン2a	2前		2							2
	キャリアデザイン2b	2後		2							2
	ボランティア学	1･2･3･4前		2							4
	ボランティア演習	1･2･3･4後		2							1
	インターンシップ1	1･2･3･4前後		2							1
	インターンシップ2	1･2･3･4前後		2							1
	情報処理リテラシー	1前	2			1					
	データサイエンスリテラシー	1後		2					1		
	日本語表現	1前	2								2
	実用日本語表現法	1後		2							1
	アカデミック日本語表現法	2前		2							1
	基礎英語1	1前	1					1			3
	基礎英語2	1後	1					1			3
	英会話1	1前	1					1			2
	英会話2	1後	1					1			2
	実用英語1	2前		1				1			
	実用英語2	2後		1				1			
	情報英語1	2前		1							1
	情報英語2	2後		1							1
	TOEIC英語1	2前		1							1
	TOEIC英語2	2後		1							1
	ドイツ語1	2前		1							1
	ドイツ語2	2後		1							1
	フランス語1	2前		1							1
	フランス語2	2後		1							1
	スペイン語1	2前		1							2
	スペイン語2	2後		1							2
	中国語1	2前		1							2
	中国語2	2後		1							2
	韓国語1	2前		1							1
	韓国語2	2後		1							1
	【教養】日本史	1･2･3･4前		2							1
	【教養】世界史	1･2･3･4前後		2							2
	【教養】日本文学	1･2･3･4前後		2							1
	【教養】外国文化論	1･2･3･4前後		2							2
	【教養】文化人類学	1･2･3･4前後		2							4
	【教養】陶芸論	1･2･3･4前		2							1
	【教養】陶芸演習	1･2･3･4前		2							1
	【教養】政治学	1･2･3･4後		2							1
	【教養】国際政治学	1･2･3･4前後		2							3
	【教養】国際関係論	1･2･3･4前後		2							3
	【教養】平和学	1･2･3･4後		2							1
	【教養】法学	1･2･3･4前後		2							4
	【教養】日本国憲法	1･2･3･4後		2							3
	【教養】経済学	1･2･3･4前後		2							2
	【教養】統計学	1･2･3･4前		2				1			1
	【教養】社会学	1･2･3･4前		2							4
	【教養】教育学	1･2･3･4前後		2							3
	【教養】哲学	1･2･3･4後		2							1
	【教養】心理学	1･2･3･4前後		2							1
	【教養】数学	1･2･3･4前		2							1
	【教養】物理学	1･2･3･4後		2							1
	【教養】化学	1･2･3･4前後		2							2
	【教養】地学	1･2･3･4前		2							1
	【教養】生物学	1･2･3･4前後		2							2

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
ＮＧＵ教養スタンダード科目		キリスト教概説1	1前	2								2
		キリスト教概説2	1後	2								2
		聖書学	2･3･4前		2							1
		キリスト教倫理	2･3･4前		2							2
		キリスト教史	1･2･3･4前後		2							2
		基礎セミナー	1前	2			5		2			
		発展セミナー	1後		2		1		1			
		キャリアデザイン1a	1前		2							1
		キャリアデザイン1b	1後		2							1
		キャリアデザイン2a	2前		2							2
		キャリアデザイン2b	2後		2							2
		ボランティア学	1･2･3･4前		2							3
		ボランティア演習	1･2･3･4後		2							1
		インターンシップ1	1･2･3･4前後		2							1
		インターンシップ2	1･2･3･4前後		2							1
		情報処理リテラシー	1前	2			1					
		データサイエンスリテラシー	1後		2					1		
		日本語表現	1前後	2								2
		実用日本語表現法	1後		2							1
		アカデミック日本語表現法	2前		2							1
		基礎英語1	1前	1					1			4
		基礎英語2	1後	1					1			4
		英会話1	1前	1					1			3
		英会話2	1後	1					1			3
		実用英語1	2前		1				1			
		実用英語2	2後		1				1			
		情報英語1	2前		1							1
		情報英語2	2後		1							1
		TOEIC英語1	2前		1							1
		TOEIC英語2	2後		1							1
		ドイツ語1	2前		1							1
		ドイツ語2	2後		1							1
		フランス語1	2前		1							1
		フランス語2	2後		1							1
		スペイン語1	2前		1							2
		スペイン語2	2後		1							2
		中国語1	2前		1							2
		中国語2	2後		1							2
		韓国語1	2前		1							1
		韓国語2	2後		1							1
		【教養】日本史	1･2･3･4前後		2							1
		【教養】世界史	1･2･3･4後		2							1
		【教養】日本文学	1･2･3･4前後		2							1
		【教養】外国文化論	1･2･3･4前後		2							2
		【教養】文化人類学	1･2･3･4前後		2							3
		【教養】陶芸論	1･2･3･4前		2							1
		【教養】陶芸演習	1･2･3･4前		2							1
		【教養】政治学	1･2･3･4前後		2							1
		【教養】国際政治学	1･2･3･4前後		2							3
		【教養】国際関係論	1･2･3･4前後		2							3
		【教養】平和学	1･2･3･4後		2							1
		【教養】法学	1･2･3･4前後		2							4
		【教養】日本国憲法	1･2･3･4前後		2							3
		【教養】経済学	1･2･3･4前後		2							2
		【教養】統計学	1･2･3･4前		2				1			1
		【教養】社会学	1･2･3･4前後		2							4
		【教養】教育学	1･2･3･4前後		2							4
		【教養】哲学	1･2･3･4前後		2							2
		【教養】心理学	1･2･3･4前後		2							2
		【教養】数学	1･2･3･4前後		2							1
		【教養】物理学	1･2･3･4後		2							1
		【教養】化学	1･2･3･4前後		2							2
		【教養】地学	1･2･3･4前		2							1
		【教養】生物学	1･2･3･4前後		2							2

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
NGU教養スタンダード科目			【教養】環境学	1･2･3･4前後		2							2
			【教養】スポーツ健康科学	1･2･3･4前後		2							2
			【教養】スポーツ初級a	1･2･3･4前		1							5
			【教養】スポーツ初級b	1･2･3･4後		1							5
			【教養】スポーツ中級a	2･3･4前		1							5
			【教養】スポーツ中級b	2･3･4後		1							5
			まちづくり学	1･2･3･4前後		2		1					3
			まちづくり演習	1･2･3･4後		2							2
			上級まちづくり演習	2･3･4後		2							1
			小計(73科目)	－	14	108	0	6	0	4	1	0	69
専門科目	基礎科目		ビジネス価値創造概論	1前	2			11	1	2	1		
			経営学概論	1前	2			1					
			データ経営入門	1前	2			1		1			
			マーケティング概論	1後	2			1					
			流通概論	1前	2			1					
			経済学・経済政策	1後	2					1			
			簿記・会計学概論	1前	2			1					
			情報倫理	1後	2			1					
			小計(計8科目)	―	16	0	0	11	1	2	1	0	0
	基幹科目		経営管理論	2前	2			1					
			経営組織論	2後	2			1					
			企業論	1後		2				1			
			金融基礎論	2前		2				1			
			経営法務	2前		2				1			
			簿記A	1後		2		1					
			簿記B	2前		2		1					
			消費者行動論	2前		2		1					
			イノベーション・マネジメント	2後		2		1					
			ブランドマネジメント	2前		2		1					
			マーケティング論Ⅰ	2前	2			1		1			
			マーケティング論Ⅱ	2後	2			1		1			
			マーケティング戦略演習	2前		2		1					
			プロダクトプランニング	2後		2		1					
			マーケティングリサーチ	2後		2				1			
			ロジスティクス	2前		2		1					
			流通システム論	2後		2		1					
			リテールマーケティング	2前		2		1					
			eビジネス概論	1後		2		1					
			eコマース概論	2前		2		1					
			情報社会論	2前		2		1					
			経営のための基礎数学	1後		2		1					
			経営のためのプログラミング	2後		2					1		
			小計(23科目)	―	8	38	0	8	0	2	1	0	0
	発展科目	経営	経営史	3前		2		1					
			経営戦略論	3後		2		1					
			生産管理論	3後		2				1			
			中小企業論	3前		2				1			
			リーダーシップ論	3後		2							1
			意思決定論	3後		2		1					
			サービスマネジメント	2後		2		1					
			国際経営	3前		2		1					
			アントレプレナーシップ	3前		2							1
			スタートアップ実践	3後		2							1
			工業簿記	2前		2							1
			管理会計論	2後		2		1					
			財務諸表論	3前		2		1					
			財務諸表分析	3後		2		1					
			コンピュータ会計	3前		2							1
			サプライチェーンマネジメント	3前		2		1					
			コンテンツビジネス論	2前		2			1				
			課題解決演習	2前		2			1				
		マーケティング	マーケティング思考論	2後		2				1			
			ソーシャルマーケティング	2前		2		1					
			国際マーケティング	2後		2		1					
			リレーションシップマーケティング	3前		2		1					
			プロダクトディベロップメント	3前		2				1			
			マーケティングコミュニケーション	3後		2							1
			デジタルプロダクトプランニング	3前		2		1					
			インターネットマーケティング	3後		2			1				
			マーチャンダイジング論	3前		2		1					
			マーケティングインテリジェンス	3前		2				1			
			データドリブンマーケティング	3後		2				1			
			プロモーション演習	2後		2			1				
			リテールマーケティング演習A	2前		2							1
			リテールマーケティング演習B	2後		2							1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
NGU教養スタンダード科目			【教養】環境学	1･2･3･4前後		2							2
			【教養】スポーツ健康科学	1･2･3･4前後		2							2
			【教養】スポーツ初級a	1･2･3･4前		1							6
			【教養】スポーツ初級b	1･2･3･4後		1							6
			【教養】スポーツ中級a	2･3･4前		1							5
			【教養】スポーツ中級b	2･3･4後		1							5
			まちづくり学	1･2･3･4前後		2		1					3
			まちづくり演習	1･2･3･4前後		2							2
			上級まちづくり演習	2･3･4後		2							1
			小計(73科目)	－	14	108	0	6	0	4	1	0	69
専門科目	基礎科目		ビジネス価値創造概	1前	2			11	1	2	1		
			経営学概論	1前	2			1					
			データ経営入門	1前	2			1		1			
			マーケティング概論	1後	2			1					
			流通概論	1前	2			1					
			経済学・経済政策	1後	2					1			
			簿記・会計学概論	1前	2			1					
			情報倫理	1後	2			1					
			小計(計8科目)	―	16	0	0	11	1	2	1	0	0
	基幹科目		経営管理論	2前	2			1					
			経営組織論	2後	2			1					
			企業論	1後		2				1			
			金融基礎論	2前		2				1			
			経営法務	2前		2				1			
			簿記A	1後		2		1					
			簿記B	2前		2		1					
			消費者行動論	2前		2		1					
			イノベーション・マネ	2後		2		1					
			ブランドマネジメント	2前		2		1					
			マーケティング論Ⅰ	2前	2			1		1			
			マーケティング論Ⅱ	2後	2			1		1			
			マーケティング戦略	2前		2		1					
			プロダクトプランニン	2後		2		1					
			マーケティングリサ	2後		2				1			
			ロジスティクス	2前		2		1					
			流通システム論	2後		2		1					
			リテールマーケティ	2前		2		1					
			eビジネス概論	1後		2		1					
			eコマース概論	2前		2		1					
			情報社会論	2前		2		1					
			経営のための基礎	1後		2		1					
			経営のためのプロ	2後		2					1		
			小計(23科目)	―	8	38	0	8	0	2	1	0	0
	発展科目	経営	経営史	3前		2		1					
			経営戦略論	3後		2		1					
			生産管理論	3後		2				1			
			中小企業論	3前		2				1			
			リーダーシップ論	3後		2							1
			意思決定論	3後		2		1					
			サービスマネジメント	2後		2		1					
			国際経営	3前		2		1					
			アントレプレナーシップ	3前		2							1
			スタートアップ実践	3後		2							1
			工業簿記	2前		2							1
			管理会計論	2後		2		1					
			財務諸表論	3前		2		1					
			財務諸表分析	3後		2		1					
			コンピュータ会計	3前		2							1
			サプライチェーンマネジメント	3前		2		1					
			コンテンツビジネス論	2前		2			1				
			課題解決演習	2前		2			1				
		マーケティング	マーケティング思考論	2後		2				1			
			ソーシャルマーケティング	2前		2		1					
			国際マーケティング	2後		2		1					
			リレーションシップマーケティング	3前		2		1					
			プロダクトディベロップメント	3前		2				1			
			マーケティングコミュニケーション	3後		2							1
			デジタルプロダクトプランニング	3前		2		1					
			インターネットマーケティング	3後		2			1				
			マーチャンダイジング論	3前		2		1					
			マーケティングインテリジェンス	3前		2				1			
			データドリブンマーケティング	3後		2				1			
			プロモーション演習	2後		2			1				
			リテールマーケティング演習A	2前		2							1
			リテールマーケティング演習B	2後		2							1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目	経営分析手法	経営データマイニング	3前		2					1		
			人事データ分析	3前		2		1					
			企業・会計データ分析	3後		2							1
			経営統計学入門	2前		2		1					
			経営統計学	2後		2		1					
			経営データ分析基礎	2前		2		1					
			経営データ分析	2後		2		1					
			経営分析手法	3前		2		1					
			意思決定分析	3後		2		1					
			経営オペレーションズリサーチ	3後		2		1					
		小計(42科目)		―	0	84	0	10	1	2	1	0	6
	専門演習科目		ビジネス価値創造学習	1後	2			2					
			ビジネス価値創造演習Ⅰ	2前	2			2		1			
			ビジネス価値創造演習Ⅱ	2後	2			11	1	2	1		
			ビジネス価値創造実践Ⅰ	3通	4			11	1	1	1		
			ビジネス価値創造実践Ⅱ	4通	4			11	1	1	1		
			論文作成指導	2後	2			1		1			
			卒業論文	4後	2			11	1	1	1		
		小計(7科目)		―	18	0	0	11	1	2	1	0	0
	小計(80科目)			―	42	122	0	11	1	2	1	0	0
自由選択科目	異文化理解科目		海外事情1	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情2	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情3	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情4	1・2・3・4前後		2		1					
		小計(4科目)		―	0	8	0	1	0	0	0	0	0
合計(157科目)				―	56	238	0	11	1	4	1	0	75

卒業要件及び履修方法

NGU教養スタンダード科目から必修14単位を含む34単位以上、専門科目(基礎科目、基幹科目、発展科目、専門演習科目)の内、必修42単位を含む80単位以上(但し、基幹科目は必修8単位を含む18単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上を修得すること)、自由選択(自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目の内、上記卒業要件単位数を超えるもの)10単位以上、合計124単位以上修得すること。

各学期(セメスター)の履修科目の登録の上限:24単位)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目	経営分析手法	経営データマイニング	3前		2					1		
			人事データ分析	3前		2		1					
			企業・会計データ分析	3後		2							1
			経営統計学入門	2前		2		1					
			経営統計学	2後		2		1					
			経営データ分析基礎	2前		2		1					
			経営データ分析	2後		2		1					
			経営分析手法	3前		2		1					
			意思決定分析	3後		2		1					
			経営オペレーションズリサーチ	3後		2		1					
		小計(42科目)		―	0	84	0	10	1	2	1	0	6
	専門演習科目		ビジネス価値創造学習	1後	2			2					
			ビジネス価値創造演習Ⅰ	2前	2			2		1			
			ビジネス価値創造演習Ⅱ	2後	2			11	1	2	1		
			ビジネス価値創造実践Ⅰ	3通	4			11	1	1	1		
			ビジネス価値創造実践Ⅱ	4通	4			11	1	1	1		
			論文作成指導	2後	2			1		1			
			卒業論文	4後	2			11	1	1	1		
		小計(7科目)		―	18	0	0	11	1	2	1	0	0
	小計(80科目)			―	42	122	0	11	1	2	1	0	0
自由選択科目	異文化理解科目		海外事情1	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情2	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情3	1・2・3・4前後		2		1					
			海外事情4	1・2・3・4前後		2		1					
		小計(4科目)		―	0	8	0	1	0	0	0	0	0
合計(157科目)				―	56	238	0	11	1	4	1	0	75

卒業要件及び履修方法

NGU教養スタンダード科目から必修14単位を含む34単位以上、専門科目(基礎科目、基幹科目、発展科目、専門演習科目)の内、必修42単位を含む80単位以上(但し、基幹科目は必修8単位を含む18単位以上、発展科目は経営、マーケティング、経営分析手法の各分野からそれぞれ4単位計12単位を含む18単位以上を修得すること)、自由選択(自由選択科目、NGU教養スタンダード科目及び専門科目の内、上記卒業要件単位数を超えるもの)10単位以上、合計124単位以上修得すること。

各学期(セメスター)の履修科目の登録の上限:24単位)

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和６年度】(新)→【令和５年度】(新)→【令和４年度】→【令和３年度】→【令和６年度】(旧)→【令和５年度】(旧)

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和６年度】

・教員配置の関係から、「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」について、兼任1名から兼任2名に変更。
・教員配置の関係や教育上の効果を高めるため、「キリスト教史」について、兼任1名から兼任2名に変更、開講時期を後期開講から前後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「キャリアデザイン1a」、「キャリアデザイン2a」について、兼任2名から兼任1名に変更。
・教員配置の関係から、「ボランティア学」について、担当者の変更及び兼担4名から兼担3名に変更。
・教育上の効果を高めるため、「日本語表現」の開講時期を前期開講から前後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「基礎英語1」、「基礎英語2」について、担当者の変更及び兼担3名から兼担4名に変更。
・教員配置の関係から、「英会話1」、「英会話2」について、担当者の変更及び兼担2名から兼担3名に変更。
・教育上の効果を高めるため、「【教養】日本史 」について、開講時期を前期開講から前後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「【教養】世界史 」について、兼担1名、兼任1名から兼任1名に変更、開講時期を前後期開講から後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「【教養】文化人類学」について、兼担2名、兼任2名から兼担2名、兼任2名に変更。
・教育上の効果を高めるため、「【教養】政治学 」について、開講時期を後期開講から前後期開講に変更。
・教育上の効果を高めるため、「【教養】日本国憲法 」について、開講時期を後期開講から前後期開講に変更。
・教育上の効果を高めるため、「【教養】社会学 」について、開講時期を前期開講から前後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「【教養】教育学 」について、兼担3名から兼担4名に変更。
・教員配置の関係や教育上の効果を高めるため、「【教養】哲学 」について、兼任1名から兼担1名、兼任1名に変更及び開講時期を後期から前後期に変更。
・教員配置の関係から、「【教養】心理学 」について、兼担1名から兼担1名、兼任1名に変更。
・教育上の効果を高めるため、「【教養】数学 」について、開講時期を前期開講から前後期開講に変更。
・教員配置の関係から、「【教養】スポーツ初級a」、「【教養】スポーツ初級b」について、兼担2名、兼任3名から兼担4名、兼任2名に変更。
・教育上の効果を高めるため、「まちづくり演習 」について、開講時期を後期開講から前後期開講に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の<u>未開講や廃止については記入しない</u>でください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
28 科目	129 科目	0 科目	157 科目	28 科目 [0]	129 科目 [0]	0 科目 [0]	157 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	インターンシップ1	2	1・2・3・4前後	一般	選択	教学上の理由により未開講。次年度以降に向け、調整中。
2	インターンシップ2	2	1・2・3・4前後	一般	選択	同上
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・　該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「インターンシップ1」、「インターンシップ2」について、教学上の理由により未開講とした。これらの科目の配当年次は、1・2・3・4年次であり、次年度以降も履修が可能であり、現在、次年度以降に向け調整中である。学生に対しては、履修登録システムで周知している。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{157} = 1.27\%$$

数式が入力されています。

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地 借用面積：16,236㎡ 借用期間：50年（平成17（2005）年7月22日より50年間）
	校舎敷地	234,785.84㎡	0㎡	0㎡	234,785.84㎡	
	運動場用地	83,493.78㎡	0㎡	0㎡	83,493.78㎡	
	小計	318,279.62㎡	0㎡	0㎡	318,279.62㎡	
	その他	64,584.76㎡	0㎡	0㎡	64,584.76㎡	
	合計	382,864.38㎡	0㎡	0㎡	382,864.38㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用土地（上記）上の建物：23,655.50㎡
		80,682.52㎡ （80,682.52㎡）	0㎡ （0㎡）	0㎡ （0㎡）	80,682.52㎡ （80,682.52㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	115室	19室	36室	5室 （補助職員　0人）	5室 （補助職員　0人）	大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	経営学部　データ経営学科	16室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料点	機械・器具点	標本点	備考
	経営学部	376,286〔86,238〕 （358,298〔86,408〕）	25,063〔23,126〕 （25,063〔23,126〕）	24,619〔23,058〕 （24,619〔23,058〕）	3,460 （3,460）	33,400 （33,400）	67 （67）	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	計	376,286〔86,238〕 （358,298〔86,408〕）	25,063〔23,126〕 （25,063〔23,126〕）	24,619〔23,058〕 （24,619〔23,058〕）	3,460 （3,460）	33,400 （33,400）	67 （67）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	6,599㎡	955席	571,861冊	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	6,711.37㎡	野球場１面、屋内プール１面、テニスコート16面ほか	大学全体

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
		教員１人当り研究費等		600千円	図書購入費	2,000千円	800千円	800千円	電子ジャーナル、データベース、その他の経費（運用コスト含む）含む
		共同研究費等		20,000千円	設備購入費	1,813千円	1,813千円	1,813千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,298千円	1,017千円	1,017千円	1,017千円		

学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	名古屋学院大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
経済学部	4	250	0	1,000	－	1.18	1.14	－	昭和39	－	
経済学科	4	250	0	1,000	学士（経済学）	**1.18**	1.14	－	昭和39	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
現代社会学部	4	150	0	600	－	1.16	1.15	－	平成27	－	
現代社会学科	4	150	0	600	学士（現代社会）	**1.16**	**1.15**	－	平成27	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
商学部	4	200	0	800	－	1.13	1.11	－	平成4	－	
商学科	4	200	0	800	学士（商学）	1.13	1.11	－	平成4	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
経営情報学科	4	－	－	－	学士（商学）	－	－	－	平成15	同上	令和６年度入学生より学生募集停止
経営学部	4	135	0	135	－	1.08	－	－	令和6	－	
データ経営学科	4	135	0	135	学士（経営学）	1.08	－	－	令和6	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
法学部	4	165	0	660	－	1.17	1.14	－	平成25	－	
法学科	4	165	0	660	学士（法学）	**1.17**	1.14	－	平成25	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
外国語学部	4	140	0	560	－	1.00	0.96	－	平成元	－	
英米語学科	4	140	0	560	学士（文学）	1.00	0.96	－	平成元	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
国際文化学部	4	150	0	600	－	1.03	1.00	－	平成27	－	
国際文化学科	4	150	0	600	学士（文学）	1.03	1.00	－	平成27	愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号	
国際協力学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成27	同上	令和３年度入学生より学生募集停止
スポーツ健康学部	4	130	0	520	－	1.09	1.07	－	平成22	－	
スポーツ健康学科	4	130	0	520	学士（スポーツ健康）	1.09	1.07	－	平成22	愛知県瀬戸市上品野町1350番地	
こどもスポーツ教育学科	4	－	－	－	学士（こどもスポーツ教育）	－	－	－	平成27	同上	令和６年度入学生より学生募集停止
リハビリテーション学部	4	80	0	320	－	1.04	1.00	－	平成22	－	
理学療法学科	4	80	0	320	学士（理学療法学）	1.04	1.00	－	平成22	愛知県名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号	
大学全体	4	1,400	0	5,600	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜経営学部　データ経営学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	杉浦　礼子 （54） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	基礎セミナー まちづくり学　※ ビジネス価値創造概論　※ マーケティング概論 イノベーション・マネジメント ブランドマネジメント ロジスティクス ソーシャルマーケティング ビジネス価値創造学習　※ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文 海外事情１ 海外事情2 海外事情3 海外事情4
専	教授	髙木　直人 （58） ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）	基礎セミナー 発展セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営学概論 経営組織論 経営史 意思決定論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	小谷　光正 （59） ＜令和6年4月＞ 商学修士	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 流通概論 プロダクトプランニング 流通システム論 リテールマーケティング リレーションシップマーケティング マーチャンダイジング論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	宇野　民幸 （54） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営のための基礎数学 経営統計学入門 経営統計学 ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	程　鵬 （61） ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	情報処理リテラシー ビジネス価値創造概論　※ 経営オペレーションズリサーチ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	杉浦　礼子 （54） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	基礎セミナー まちづくり学　※ ビジネス価値創造概論　※ マーケティング概論 イノベーション・マネジメント ブランドマネジメント ロジスティクス ソーシャルマーケティング ビジネス価値創造学習　※ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文 海外事情１ 海外事情2 海外事情3 海外事情4
専	教授	髙木　直人 （58） ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）	基礎セミナー 発展セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営学概論 経営組織論 経営史 意思決定論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	小谷　光正 （59） ＜令和6年4月＞ 商学修士	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 流通概論 プロダクトプランニング 流通システム論 リテールマーケティング リレーションシップマーケティング マーチャンダイジング論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	宇野　民幸 （54） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営のための基礎数学 経営統計学入門 経営統計学 ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	程　鵬 （61） ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	情報処理リテラシー ビジネス価値創造概論　※ 経営オペレーションズリサーチ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	五藤　寿樹 （69） ＜令和6年4月＞ 学士（経済学）	データサイエンスリテラシー ビジネス価値創造概論　　※
専	助教	松下　真也 （30） ＜令和7年4月＞ 修士（理工学）	データサイエンスリテラシー ビジネス価値創造概論　※ 経営のためのプログラミング 経営データマイニング ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	永田　守男 （60） ＜令和6年4月＞ 博士（商学）	ビジネス価値創造概論　※ 簿記・会計学概論 簿記A 簿記B 管理会計論 財務諸表論 財務諸表分析 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	伊藤　昭浩 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ 情報倫理 eビジネス概論 eコマース概論 情報社会論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	齋藤　邦彦 （66） ＜令和6年4月＞ 工学修士	ビジネス価値創造概論　※ データ経営入門 経営分析手法 意思決定分析 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	岡本　純 （61） ＜令和6年4月＞ Master of Business Administration	ビジネス価値創造概論　※ 消費者行動論 マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ マーケティング戦略演習 サービスマネジメント 国際経営 国際マーケティング ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	五藤　寿樹 （69） ＜令和6年4月＞ 学士（経済学）	データサイエンスリテラシー ビジネス価値創造概論　　※
専	助教	松下　真也 （30） ＜令和7年4月＞ 修士（理工学）	データサイエンスリテラシー ビジネス価値創造概論　※ 経営のためのプログラミング 経営データマイニング ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	永田　守男 （60） ＜令和6年4月＞ 博士（商学）	ビジネス価値創造概論　※ 簿記・会計学概論 簿記A 簿記B 管理会計論 財務諸表論 財務諸表分析 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	伊藤　昭浩 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ 情報倫理 eビジネス概論 eコマース概論 情報社会論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	齋藤　邦彦 （66） ＜令和6年4月＞ 工学修士	ビジネス価値創造概論　※ データ経営入門 経営分析手法 意思決定分析 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	岡本　純 （61） ＜令和6年4月＞ Master of Business Administration	ビジネス価値創造概論　※ 消費者行動論 マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ マーケティング戦略演習 サービスマネジメント 国際経営 国際マーケティング ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	三輪　冠奈 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ サプライチェーンマジメント デジタルプロダクトプランニング 経営データ分析基礎 経営データ分析 ビジネス価値創造学習　※ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	水野　清文 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営管理論 経営戦略論 人事データ分析 ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 論文作成指導 卒業論文
専	准教授	山口　翔 （41） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ コンテンツビジネス論 課題解決演習 インターネットマーケティング プロモーション演習 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	講師	石原　俊之 （46） ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経済学・経済政策 企業論 金融基礎論 経営法務 生産管理論 中小企業論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	講師	松本　義宏 （44） ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	基礎セミナー 発展セミナー 【教養】統計学 ビジネス価値創造概論　※ データ経営入門 マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ マーケティングリサーチ マーケティング思考論 プロダクトディベロップメント マーケティングインテリジェンス データドリブンマーケティング ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導
専	講師	櫻井　陽子 （46） ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 実用英語1 実用英語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	三輪　冠奈 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ サプライチェーンマジメント デジタルプロダクトプランニング 経営データ分析基礎 経営データ分析 ビジネス価値創造学習　※ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	教授	水野　清文 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経営管理論 経営戦略論 人事データ分析 ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 論文作成指導 卒業論文
専	准教授	山口　翔 （41） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	ビジネス価値創造概論　※ コンテンツビジネス論 課題解決演習 インターネットマーケティング プロモーション演習 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	講師	石原　俊之 （46） ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	基礎セミナー ビジネス価値創造概論　※ 経済学・経済政策 企業論 金融基礎論 経営法務 生産管理論 中小企業論 ビジネス価値創造演習Ⅱ ビジネス価値創造実践Ⅰ ビジネス価値創造実践Ⅱ 卒業論文
専	講師	松本　義宏 （44） ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	基礎セミナー 発展セミナー 【教養】統計学 ビジネス価値創造概論　※ データ経営入門 マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ マーケティングリサーチ マーケティング思考論 プロダクトディベロップメント マーケティングインテリジェンス データドリブンマーケティング ビジネス価値創造演習Ⅰ ビジネス価値創造演習Ⅱ 論文作成指導
専	講師	櫻井　陽子 （46） ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2 実用英語1 実用英語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	水野　晶夫 （60） ＜令和6年4月＞ 経済学修士	ボランティア学　※ まちづくり学　※ まちづくり演習
兼担	教授	江口　忍 （59） ＜令和6年4月＞ 法学士	インターンシップ1 インターンシップ2
兼担	教授	達本　美香 （60） ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy (Applied English　Linguistics)	基礎英語1 基礎英語2
兼担	教授	須川　精致 （59） ＜令和6年4月＞ 文学修士	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2
兼担	教授	黄　名時 （69） ＜令和6年4月＞ 文学修士	【教養】外国文化論
兼担	教授	米山　雅弘 （61） ＜令和6年4月＞ 文学修士	【教養】外国文化論
兼担	教授	今村　薫 （63） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】文化人類学
兼担	教授	増田　あゆみ （69） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】国際政治学 【教養】国際関係論
兼担	教授	飯島　滋明 （54） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】平和学
兼担	教授	伊藤　雄太 （62） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】法学
兼担	教授	中嶋　航一 （68） ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics	【教養】経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	水野　晶夫 （60） ＜令和6年4月＞ 経済学修士	ボランティア学　※ まちづくり学　※ まちづくり演習
兼担	教授	江口　忍 （59） ＜令和6年4月＞ 法学士	インターンシップ1 インターンシップ2
兼担	教授	達本　美香 （60） ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy (Applied English　Linguistics)	**英会話1** **英会話2**
兼担	教授	須川　精致 （59） ＜令和6年4月＞ 文学修士	基礎英語1 基礎英語2
兼担	教授	黄　名時 （69） ＜令和6年4月＞ 文学修士	【教養】外国文化論
兼担	教授	米山　雅弘 （61） ＜令和6年4月＞ 文学修士	【教養】外国文化論
兼担	教授	今村　薫 （63） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】文化人類学
兼担	教授	増田　あゆみ （69） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】国際政治学 【教養】国際関係論
兼担	教授	飯島　滋明 （54） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】平和学
兼担	教授	伊藤　雄太 （62） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】法学
兼担	教授	中嶋　航一 （68） ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics	【教養】経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宝島　格 （57） ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）	【教養】統計学 【教養】数学
兼担	教授	早川　洋行 （62） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	【教養】社会学
兼担	教授	金　愛慶 （55） ＜令和6年4月＞ 修士（心理学）	【教養】心理学
兼担	教授	酒井　淳一 （69） ＜令和6年4月＞ 医学博士	【教養】スポーツ健康科学
兼担	教授	濵　満久 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（商学）	まちづくり学　※
兼担	准教授	神山　美奈子 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（神学）	キリスト教倫理 ボランティア学　※ ボランティア演習
兼担	准教授	黒柳　志仁 （46） ＜令和6年4月＞ Dr.theol.	ボランティア学　※
兼担	准教授	山下　匡将 （41） ＜令和6年4月＞ 修士（臨床福祉学）	ボランティア学　※
兼担	准教授	川﨑　めぐみ （44） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	実用日本語表現法 アカデミック日本語表現法
兼担	准教授	吉田　達矢 （49） ＜令和6年4月＞ 博士（史学）	【教養】世界史
兼担	准教授	宮坂　清 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	【教養】文化人類学 【教養】社会学
兼担	准教授	村上　玲 （41） ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	【教養】法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	宝島　格 （57） ＜令和6年4月＞ 博士（数理科学）	【教養】統計学 【教養】数学
兼担	教授	早川　洋行 （62） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	【教養】社会学
兼担	教授	金　愛慶 （55） ＜令和6年4月＞ 修士（心理学）	【教養】心理学
兼担	教授	酒井　淳一 （69） ＜令和6年4月＞ 医学博士	【教養】スポーツ健康科学
兼担	教授	濵　満久 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（商学）	まちづくり学　※
兼担	准教授	神山　美奈子 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（神学）	**キリスト教概説1** **キリスト教概説2** キリスト教倫理
兼担	准教授	山下　匡将 （42） ＜令和6年4月＞ 修士（臨床福祉学）	ボランティア学　※
兼担	准教授	川﨑　めぐみ （44） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	実用日本語表現法 アカデミック日本語表現法
兼担	准教授	宮坂　清 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	【教養】文化人類学 【教養】社会学
兼担	准教授	**姜　恩英** **（36）** **＜令和6年4月＞** **博士（法学）**	【教養】法学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	榎澤　幸広 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	【教養】日本国憲法
兼担	准教授	村上　寿来 （53） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	【教養】経済学
兼担	准教授	松本　浩司 （43） ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	【教養】教育学
兼担	准教授	横井　志保 （57） ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	【教養】教育学
兼担	准教授	小林　記之 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】物理学 【教養】地学 【教養】環境学
兼担	准教授	齊藤　久美子 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（薬学）	【教養】生物学
兼担	准教授	伊藤　幹 （40） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	【教養】スポーツ健康科学 【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼担	講師	川合　智之 （51） ＜令和7年4月＞ 修士（大学アドミニストレーション）	キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼担	講師	平石　順久 （53） ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）	基礎英語1 基礎英語2
兼担	講師	松田　佑治 （37） ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	英会話1 英会話2
兼担	講師	城野　博史 （70） ＜令和7年4月＞ 修士（言語科学）	情報英語1 情報英語2 TOEIC英語1 TOEIC英語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	榎澤　幸広 （51） ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	【教養】日本国憲法
兼担	准教授	村上　寿来 （53） ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	【教養】経済学
兼担	准教授	松本　浩司 （43） ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）	【教養】教育学
兼担	准教授	横井　志保 （57） ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	【教養】教育学
兼担	准教授	小林　記之 （47） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】物理学 【教養】地学 【教養】環境学
兼担	准教授	齊藤　久美子 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（薬学）	【教養】生物学
兼担	准教授	伊藤　幹 （40） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	【教養】スポーツ健康科学 【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼担	講師	川合　智之 （51） ＜令和6年4月＞ 修士（大学アドミニストレーション）	キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼担	講師	平石　順久 （53） ＜令和6年4月＞ 修士（英語学）	基礎英語1 基礎英語2
兼担	講師	松田　佑治 （37） ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	英会話1 英会話2
兼担	講師	城野　博史 （70） ＜令和7年4月＞ 修士（言語科学）	情報英語1 情報英語2 TOEIC英語1 TOEIC英語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	末松　美咲 （38） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】日本文学
兼担	講師	藤井　真吾 （30） ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	【教養】教育学
兼担	講師	金澤　篤 （45） ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼担	講師	澤田　景子 （45） ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	まちづくり学 まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	講師	石田　聖実 （70） ＜令和6年4月＞ 修士（神学）	キリスト教概説1 キリスト教概説2 キリスト教倫理 キリスト教史
兼任	講師	日沖　直子 （60） ＜令和7年4月＞ Ph.D.	聖書学
兼任	講師	丹山　美香 （60） ＜令和6年4月＞ 准学士	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼任	講師	田原　数哲 （44） ＜令和6年4月＞ 学士（法学）	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼任	講師	後藤　あや （36） ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	日本語表現
兼任	講師	永井　真平 （42） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	日本語表現
兼任	講師	大熊　洋行 （41） ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	ドイツ語1 ドイツ語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	末松　美咲 （38） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】日本文学
兼担	講師	藤井　真吾 （30） ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	【教養】教育学
兼担	講師	金澤　篤 （45） ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼担	講師	澤田　景子 （45） ＜令和6年4月＞ 修士（福祉マネジメント）	まちづくり学 まちづくり演習 上級まちづくり演習
兼任	講師	石田　聖実 （70） ＜令和6年4月＞ 修士（神学）	キリスト教倫理 キリスト教史
兼任	講師	日沖　直子 （60） ＜令和7年4月＞ Ph.D.	聖書学
兼任	講師	丹山　美香 （60） ＜令和6年4月＞ 准学士	キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼任	講師	田原　数哲 （44） ＜令和6年4月＞ 学士（法学）	キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼任	講師	**市川　遥** **（31）** **＜令和6年4月＞** **博士（文学）**	日本語表現
兼任	講師	永井　真平 （42） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	日本語表現
兼任	講師	大熊　洋行 （41） ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	ドイツ語1 ドイツ語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	棚橋　美知子 （43） ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	フランス語1 フランス語2
兼任	講師	重松　由美 （55） ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	櫻井　里香 （61） ＜令和7年4月＞ 修士（学術）	スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	陳　雷 （53） ＜令和7年4月＞ 修士（学術）	中国語1 中国語2
兼任	講師	梁　音 （57） ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	中国語1 中国語2
兼任	講師	趙　賢美 （52） ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）	韓国語1 韓国語2
兼任	講師	上野　史朗 （68） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】日本史
兼任	講師	竹 ノ下　祐二 （53） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】世界史 【教養】文化人類学
兼任	講師	菅沼　文乃 （42） ＜令和6年4月＞ 博士（人類学）	【教養】文化人類学
兼任	講師	加藤　裕重 （64） ＜令和6年4月＞ 商学士	【教養】陶芸論 【教養】陶芸演習
兼任	講師	大園　誠 （52） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】政治学
兼任	講師	櫻井　雅俊 （46） ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	【教養】国際政治学 【教養】国際関係論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	棚橋　美知子 （43） ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	フランス語1 フランス語2
兼任	講師	重松　由美 （55） ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	櫻井　里香 （61） ＜令和7年4月＞ 修士（学術）	スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	陳　雷 （53） ＜令和7年4月＞ 修士（学術）	中国語1 中国語2
兼任	講師	梁　音 （57） ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	中国語1 中国語2
兼任	講師	趙　賢美 （52） ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）	韓国語1 韓国語2
兼任	講師	上野　史朗 （68） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】日本史
兼任	講師	菅沼　文乃 （42） ＜令和6年4月＞ 博士（人類学）	【教養】文化人類学
兼任	講師	加藤　裕重 （64） ＜令和6年4月＞ 商学士	【教養】陶芸論 【教養】陶芸演習
兼任	講師	大園　誠 （52） ＜令和6年4月＞ 修士（法学）	【教養】政治学
兼任	講師	櫻井　雅俊 （46） ＜令和6年4月＞ 修士（学術）	**【教養】世界史** 【教養】国際政治学 【教養】国際関係論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木　規夫 （66） ＜令和6年4月＞ 博士（政治学）	【教養】国際政治学 【教養】国際関係論
兼任	講師	小林　智 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	【教養】法学 【教養】日本国憲法
兼任	講師	長尾　良子 （62） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】法学 【教養】日本国憲法
兼任	講師	栗田　英彦 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】社会学
兼任	講師	新城　優子 （41） ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	【教養】社会学
兼任	講師	三谷　竜彦 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】哲学
兼任	講師	長　昌司 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	【教養】化学
兼任	講師	加藤　健治 （38） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】化学 【教養】生物学
兼任	講師	海川　能理子 （60） ＜令和6年4月＞ 修士（環境学）	【教養】環境学
兼任	講師	坂田　利弘 （68） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼任	講師	新海　陽平 （37） ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木　規夫 （66） ＜令和6年4月＞ 博士（政治学）	【教養】国際政治学 【教養】国際関係論
兼任	講師	小林　智 （46） ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	【教養】法学 【教養】日本国憲法
兼任	講師	長尾　良子 （62） ＜令和6年4月＞ 法学修士	【教養】法学 【教養】日本国憲法
兼任	講師	栗田　英彦 （45） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】社会学
兼任	講師	新城　優子 （41） ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）	【教養】社会学
兼任	講師	三谷　竜彦 （50） ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	【教養】哲学
兼任	講師	長　昌司 （52） ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	【教養】化学
兼任	講師	加藤　健治 （38） ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	【教養】化学 【教養】生物学
兼任	講師	海川　能理子 （60） ＜令和6年4月＞ 修士（環境学）	【教養】環境学
兼任	講師	坂田　利弘 （68） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼任	講師	新海　陽平 （37） ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	吉村　篤司 （68） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b 【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼任	講師	榎澤　祐一 （45） ＜令和8年4月＞ 博士（経営管理）	リーダーシップ論
兼任	講師	小津　雅彦 （43） ＜令和8年4月＞ 学士（商学）	アントレプレナーシップ スタートアップ実践
兼任	講師	曽場　七恵 （38） ＜令和7年4月＞ 修士（総合政策）	工業簿記
兼任	講師	伊藤　達彦 （51） ＜令和8年4月＞ 修士（商学）	コンピュータ会計 企業・会計データ分析
兼任	講師	上岡　和弘 （62） ＜令和8年4月＞ 学士（造形）	マーケティングコミュニケーション
兼任	講師	金岡　勝一 （71） ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）	リテールマーケティング演習Ⅰ リテールマーケティング演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	吉村　篤司 （68） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	【教養】スポーツ中級a 【教養】スポーツ中級b
兼任	講師	榎澤　祐一 （45） ＜令和8年4月＞ 博士（経営管理）	リーダーシップ論
兼任	講師	小津　雅彦 （43） ＜令和8年4月＞ 学士（商学）	アントレプレナーシップ スタートアップ実践
兼任	講師	曽場　七恵 （38） ＜令和7年4月＞ 修士（総合政策）	工業簿記
兼任	講師	伊藤　達彦 （51） ＜令和8年4月＞ 修士（商学）	コンピュータ会計 企業・会計データ分析
兼任	講師	上岡　和弘 （62） ＜令和8年4月＞ 学士（造形）	マーケティングコミュニケーション
兼任	講師	金岡　勝一 （71） ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）	リテールマーケティング演習Ⅰ リテールマーケティング演習Ⅱ
兼担	教授	澤村　雅史 （57） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	キリスト教概説1 キリスト教概説2 ボランティア学　※ ボランティア演習
兼担	教授	青木　一起 （66） ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	【教養】教育学
兼担	教授	丸山　洋生 （61） ＜令和6年4月＞ 修士（教育）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b
兼担	講師	加藤　みゆき （59） ＜令和6年4月＞ 修士（言語科学）	基礎英語1 基礎英語2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	山﨑　僚子 （50） ＜令和6年4月＞ 修士（学校教育学）	基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2
兼担	講師	横路　佳幸 （34） ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	【教養】哲学
兼担	講師	成田　真一 （47） ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）	【教養】スポーツ初級a 【教養】スポーツ初級b
兼任	講師	李　惠源 （43） ＜令和6年4月＞ 博士（Ph.D.）	キリスト教史
兼任	講師	岡谷　ゆい （35） ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	【教養】心理学

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カ
の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和６年度】

＜兼担・兼任教員＞
・達本教授の担当科目の見直しにより、「英会話1」、「英会話2」を追加担当し、「基礎英語1」、「基礎英語2」を削除。
・須川教授の担当科目の見直しにより、「英会話1」、「英会話2」を削除。
・神山准教授の担当科目の見直しにより、「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」を追加担当し、「ボランティア学」、「ボランティア演習」を削除。
・黒柳准教授が退職し、担当科目を削除。
・吉田准教授が科目担当者から外れ、「【教養】世界史」を削除。
・村上准教授が科目担当者から外れ、「【教養】法学」を削除し、姜恩英准教授が同科目を担当。
・石田講師の担当科目の見直しにより、「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」を削除。
・丹山講師の担当科目の見直しにより、「キャリアデザイン1a」、「キャリアデザイン1b」を削除。
・後藤講師が科目担当者から外れ、「日本語表現」を削除し、市川講師が同科目を担当。
・竹ノ下講師が科目担当者から外れ、「【教養】世界史」、「【教養】文化人類学」を削除。
・櫻井講師の担当科目の見直しにより、「【教養】世界史」を追加担当。
・吉村講師の担当科目の見直しにより、「【教養】スポーツ初級a」、「【教養】スポーツ初級b」を削除。
・教学上の理由により、「キリスト教概説1」、「キリスト教概説2」、「ボランティア学」、「ボランティア演習」の担当者として、澤村教授を追加。
・教学上の理由により、「【教養】教育学」の担当者として、青木教授を追加。
・教学上の理由により、「【教養】スポーツ初級a」、「【教養】スポーツ初級b」の担当者として、丸山教授を追加。
・教学上の理由により、「基礎英語1」、「基礎英語2」の担当者として、加藤講師及び山﨑講師を追加。
・教学上の理由により、「英会話1」、「英会話2」の担当者として、山崎講師を追加。
・教学上の理由により、「【教養】哲学」の担当者として、横路講師を追加。
・教学上の理由により、「【教養】スポーツ初級a」、「【教養】スポーツ初級b」の担当者として、成田講師を追加。
・教学上の理由により、「キリスト教史」の担当者として、李講師を追加。
・教学上の理由により、「【教養】心理学」の担当者として、岡谷講師を追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・　計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

（注）・　大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・　高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画について、( )内に開設時の教員数を記入してください。

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
12	1	3	0	16	0	12	1	3	0	16	0
（ 12 ）	（ 1 ）	（ 3 ）	（ 0 ）	（ 16 ）	（ 0 ）						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
11	1	3	1	16	0	11	1	3	1	16	0
[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]

設置時の計画との増減数を[ ]内に記入してください。
（記入例：△1）

設置時の計画との増減数を[ ]内に記入してください。
（記入例：△1）

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入して
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

数式が入力されています。

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成

数式が入力されています。

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{16} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

数式が入力されています。

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				①	
						②	
						③	

合計（Ｄ）		後任補充状況の集計（Ｅ）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				①	
						②	
						③	

合計（Ｆ）		後任補充状況の集計（Ｇ）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）		後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)ー③合計(D)+(F)}{(2)ー②設置時の計画(A)} = \frac{0}{16} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）ー⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

（注）・（３）ー①、（３）ー②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・　令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）ー⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし			①	
					②	
					③	

合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0　科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0　科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0　科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0　科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （令和5年）	・経済学部経済学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・現代社会学部現代社会学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・商学部経営情報学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・法学部法学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項	令和5年度入学試験において大学全体の入学定員超過率が1.18倍と新入生を想定以上に受け入れたことより、令和6年度入学試験では入学者の受け入れをより厳格化し、大学全体の入学定員超過率が1.09倍となった。これを受け、多くの学部では収容定員の超過状況は改善されたが、一方で学部間による新入生の受け入れ状況にばらつきがあり、一部の学部では収容定員超過状況の改善には至っていない。 なお、商学部経営情報学科及びスポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科については、令和6年度より学生募集を停止した。令和6年における収容定員超過率は以下のとおりである（括弧内は令和5年度の数値）。 経済学科：1.18倍、控除後1.14倍（1.16倍） 現代社会学科：1.16倍、控除後1.15倍（1.17倍） 経営情報学科：令和6年度より学生募集停止 法学科：1.17倍、控除後1.14倍（1.18倍） こどもスポーツ教育学科：令和6年度より学生募集停止 （6）	履行中	収容定員超過是正のため、各学部において厳格な入学者の受け入れを継続するとともに、この方針を理事会や関係委員会等で共有する。また、令和5年度の入学者数が他の年度と比較して多数であったことから、大幅な収容定員の超過が令和9年度で解消される見通しである。（6）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜経営学部　データ経営学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

別添「FD委員会規程」に基づき、全学的なFD委員会の下部組織に、経営学部FD委員会を設置し開催予定である。FD委員会の構成は、学長（委員長）、教務部長（副委員長）、副学長、各学部長、各研究科長、学術情報センター長、教職センター長、各学部教務主任、事務局長、事務局次長、教務・学生事務部長、教務課長であり、経営学部FD委員会は、教務主任を委員長とし経営学部全教員により組織される。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

経営学部教授会（2024年度11回開催予定）終了後に開催予定である。

ｃ　委員会の審議事項等

以下について委員会に付議し、活動を開始した。
・2024年度基礎セミナーの授業運営について
・リレー講義『ビジネス価値創造概論』【春学期：水曜・3時間目】の担当講と成績評価について

②　実施状況

ａ　実施内容

経営学部FD委員会を中心として、学部内のFD活動を活性化するための審議を行う。4月3日に第1回目を開催し、以下のとおり審議・報告を行った。
①審議事項
1）2024年度基礎セミナーの授業運営について
2）リレー講義『ビジネス価値創造概論』【春学期：水曜・3時間目】の担当講と成績評価について
②報告事項
1）2024年度学内各種委員担当について
2）2024年度新入生オリエンテーションスケジュールについて
3）2024年度経営学部データ経営学科＜独自事業スケジュール＞
4）2024年度経営学部データ経営学科＜教育等事業予算＞採択事業および担当者
5）2024年度自己点検・評価に基づく学部の行動目標について
6）教育効果の可視化対象科目と学習成果の可視化に向けた取組について
今後は、以下の内容を委員会で検討予定である。
・授業アンケートを実施する
・教授会終了後に、授業における学生の様子、個別ケース及び困難事例に関する意見交換を行い、教員相互の共通理解や交流を促進することで、FD活動の基盤をつくる
このほか、全学的な取組として、ICT講習会、学外機関主催のワークショップ、事例発表など様々な取組を年に複数回開催しており、授業の質向上に努めている。また、全教職員を対象に、FD・SD研修会を年2回開催している。

ｂ　実施方法

FD委員会における検討結果を踏まえ、全学部の体制で計画的に推進する。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

上記のとおり4月3日に第1回目となる経営学部FD委員会を開催し、全専任教員が出席した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現在は、経営学部FD委員会が設置された直後であり、委員会における計画段階であるため、具体的な授業改善の取組を行っていない。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

毎学期（前期及び後期）末に授業アンケートを実施する予定である。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

教職員学生とも、学内イントラネットで閲覧できる。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部データ経営学科は、設置の趣旨・目的に基づき、適切にその取組を行っている。5月1日までの取組としては、令和6年4月に147名の入学者を受け入れ、学部・学科ガイダンス、学生生活オリエンテーション、履修ガイダンスなど、新入生オリエンテーションを実施し、ディプロマ・ポリシーや教育課程の体系などについて詳細に説明した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年6月上旬　公表予定

b 公表方法

ホームページ上に、令和5年度自己点検・評価に関する総括を公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和7年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和６年度）

a 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 (調査結果公表後１ヶ月以内) ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 (ウェブサイトへの掲載) ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。